

赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 伏龍肝

新訂和漢薬 記載頁

1005

基源 多年使用した竈の下、或は額上の焼土。Terra cotta, (カマドノツチ)。

部位

作用 無毒、或微毒。止毒 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 催生下胞 [本草綱目]。

応用 欬逆, 吐血 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目, 古方薬議], 婦人崩中, 瘀血, 癰腫 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 腸風, 帯下, 尿血 [証類本草, 本草綱目, 古方薬議], 心痛, 重舌, 洩精, 催生, 小兒夜啼, 小兒臍瘡, 狂癲, 腋臭 [証類本草, 本草綱目], 風邪, 反胃, 中惡, 風噤, 諸瘡 [本草綱目], 鼻衄 [古方薬議]。

処方 漿水〔嘔吐〕, 黄土湯〔吐血〕, 補肺湯〔欬血〕, 黄土湯〔便血〕。

備考